事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 4月 14日

事業所名 こども発達支援 こるでい

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1		・人数を分けている。 ・外出等の工夫をしている。	
	② 職員の配置数は適切であるか	4	1	1		
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	5		・現時点で車イスの利用児童がいない。 ・車イスの児童の受け入れがないため、バリアフリー化にはなっていない。	
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2		・スタッフ一人一人にその日の振り返りを行っている。	
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	4		・知らない。	
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2			
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		3	3		
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	3	1	・研修会の参加などはないがOJTなどで工夫し資質向上を図っている。	・外部の研修等、積極的に参加していけるように努めたい。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3			・その都度必要に応じたアセスメントツールを使用できるように全体で作成に取り組んでいきたい。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	2		・他のスタッフと時間を調整し話し合い案を出し合って提出するようにしている。	
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			・前月と重なるものもあるが内容を覚えていくようにしている。	・それぞれのプログラムでスキルアップしていけるように工夫を行ってきたい。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4		2		・まずは休日に必要なそれぞれの課題の把握から努めていきたい。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				
⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1	1	・シフト時間がバラバラのため支援前後の打合せは難しいため連絡ノートを活用し行っている。	・今後も活用範囲を広げつつ連携体制の強化を行っていく。	

	⑩ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3		・その都度、気づいた所があれば伝えるようにしている。 ・シフト時間がバラバラのため支援前後の打合せは難しいため連絡ノートを活用し行っている。	
	⑪ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2			
	⑫ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6				
	⑬ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	3	3		・知らない。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6				
	⑮ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6				
	⑯ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	3		・現時点で対象児童がいない。	
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	2		・知らない。	・その都度全体把握に努めていけるように工夫が必要。
	⑱ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	4		・携わっていない。 ・知らない。	・その都度全体把握に努めていけるように工夫が必要。
	⑲ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	2	2		
	⑳ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	4	・機会があれば交流するのでもいいと思う。	・今後行っていけるように可能な形をスタッフ間で検討していく。
	㉑ (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	0	3	3	・知らない。	
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6				
	㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	3		・知らない。	・スタッフ間での共通理解や認識を計っていく必要がある為、今後研修などでその場を設けていく。

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6				・もっと細かく印象に残る説明を行っていく必要があると考える。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6				
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		1	5		・今後行っていけるよう内容を検討中。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2		・知らない。	・スタッフがしっかりと把握していけるようなシステムづくりを行っていく必要がある。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6				
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	6				
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6				
非常時等の対応	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	3	・招待する行事を行えていない。	・今後行っていきたい。
	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	1		・今まで以上に周知徹底を行う必要がある。
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5		1	・定期的には行えていない。	・計画を立てて行っていけるように検討していく。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	1			
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2			
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	2		・対象の児童が現時点でいない。 ・食物アレルギーの児童はいない。	
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	3		・知らない。	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。